

県議会 おおいた

No. 77

平成22年2月発行
大分県議会

編集 大分県議会事務局
大分市大手町3丁目1-1
☎097-506-5035
(ダイヤルイン)
FAX 097-506-1785

題字は、大分県立大分南高等学校 2年 矢野 薫さんの作品です。

■ 県議会ホームページURL (アドレス) <http://www.pref.oita.jp/21000/>

平成21年第4回定例会	1
主な質問答弁要旨	2
県議会10大ニュース	4
県議会の動き	6



ごあいさつ



大分県議会議長
安部 省祐

県議会は、昨年、九州で初めてとなる「大分県議会基本条例」を制定しました。県民の皆さんのご負託にいち早く応えていくため、クイック・レスポンスの体制づくりや政策立案機能の強化など、議会改革を推進しながら、皆さんに身近な開かれた県議会づくりに取り組んでいます。

さて、新年度の国の予算編成では、新規事業の凍結をはじめ事業費の抑制により、地方が久しく待

望している社会資本整備について、先行き不透明な状況になってきています。

大分県議会といたしましては、地域の皆さんの声が各種施策に十分反映されるよう、今後とも、あらゆる機会を通じて、地方の実態を訴え、情報発信してまいります。県内景気は穏やかに持ち直しつつあるものの、景気の回復を実感できるまでには未だ至っていません。県議会議員四十四名は、一丸となって、こうした状況に立ち向かい、「安心して心豊かに暮らせる大分県づくり」の実現に、県民の皆さんとともに挑戦してまいります。

平成21年第4回定例会

11月26日に開会、12月10日までの会期15日間で開催した。

今定例会では、新型インフルエンザワクチンの公費負担等を計上した一般会計補正予算案（補正額18億2814万円）や知事等特別職、一般職及び議員の期末手当等を減額する条例案など議案40件、請願3件が提出された。

12月2日から3日間にわたり行われた一般質問では、12名の議員

が登壇し、県政の諸課題について執行部と活発な議論を行った。2日には継続審査となっていた平成20年度決算議案について、大友決算特別委員長から審査報告があり、認定された。

各常任委員会は、7日に開催し、付託された議案等について慎重な審査を行った。

知事提出議案等38件（決算議案17件を含む）を原案どおり可決・認定し、議員提出議案16件及び委員会提出議案3件を可決、請願3件を採択し閉会した。

一般質問



自由民主党
嶋 幸一 議員

雇用問題
障がい者福祉



自由民主党
田中 利明 議員

観光戦略
大型船修理ドックヤード構想



県民クラブ
賀来 和紘 議員

ホーバーの今後の見通し
高校新卒者の就職対策



無所属の会
高村 清志 議員

地球温暖化対策
農産物の香港・中国への売込み



自由民主党
土居 昌弘 議員

精神保健政策
入札制度



公明党
竹中 万寿夫 議員

大野川大橋有料道路の無料化
ドクターヘリ



県民クラブ
佐藤 博章 議員

県立美術館構想
新型インフルエンザ



自由民主党
濱田 洋 議員

新政権の政治手法
農林水産研究センター改革



県民クラブ
首藤 隆憲 議員

米良有料道路の無料化
警察署等の配置のあり方



自由民主党
淵 健児 議員

国の政権運営
大分トリニータ



自由民主党
近藤 和義 議員

観光振興の取組
農林水産業二千億円プロジェクト



県民クラブ
小野 弘利 議員

新政権の教育政策と今後の県
教育行政
「貧困・格差」と教育の機会均等

※質問項目は、一人2項目を掲載
しています。

問 政府の事業仕分けの結果
が来年度予算にどう反映
されるか不透明だが、大分県へ
の影響をどのように考えるか

答 今回の判定結果は、あ
くまでも一つの参考意見
とし、予算編成にあたっては、
責任のある内閣が十分に議論し
た上で結論を出す必要があると
考える。現時点では、本県に及
ぼす影響を具体的に申し上げる
状況はないが、低迷する地域経
済をはじめ、社会資本整備の遅
れや厳しい財政状況に追い打ち

をかけることがないようにと心
配している。
新政権がどのような判断を
し、新年度予算を編成するか、
しっかりと見極めていきたい。

大分県の観光戦略とし
て、中国人観光客の誘致
活動に本格的に取り組むべきと
考えるが、今後の県の戦略は

問 中国では、年間四千六
百万人が海外旅行をして
いるが、そのうち日本に来てい
るのはわずか百万人と中国から
の観光客誘致は遅れており、こ
れから力を入れていかなければ
ならない。
本年7月には、中国人に対す
る個人観光ビザが解禁され、観
光客受入れの環境が整ってきた。
次の三点を観光戦略として展
開していく。

答 中国では、年間四千六
百万人が海外旅行をして
いるが、そのうち日本に来てい
るのはわずか百万人と中国から
の観光客誘致は遅れており、こ
れから力を入れていかなければ
ならない。

① インターネットを活用した大
分県の認知度向上と、個人旅行
者が安心して観光できる環境づ
くり

② 平成22年開催の上海万国博覧
会を契機とした相互交流の推進

③ 中国からの教育旅行誘致に不
可欠な学校間交流の促進

可欠な学校間交流の促進

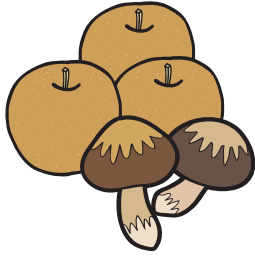
問 県産農産物の海外への 売り込み体制と成果は

答 輸出促進協議会（生産部会、流通関係者等で構成）により販促活動等を行ってきた結果、高級乾しいたけはタイへ、養殖ブリは北米での販売が拡大している。梨も台湾を中心に125トンまで拡大した。

中国へは、この4年間で新たに焼酎、醤油、牛乳等約100品目の輸出が始まり、多くの商品が定番化されている。

また、輸出拡大を図るため、関係部が連携して上海やタイで「大分フェア」等を実施している。

輸出をめぐる環境は厳しいが、長期的視点に立ち、品目毎、国毎に戦略的な対策を講じていく。



問 大野川大橋と米良有料道路の無料化について

答 大分駅付近の高架化に伴う大道陸橋の撤去を控

え、米良有料道路は市内南北方向の迂回路として有力なルートであり、積極的に交通を誘導することがこれから必要になってくる。また、生活道路となつていく大野川大橋が有料であることは、住民感情として理解されない面があることも事実だと思

う。有料道路の無料化は高い効果と即効性が期待できる渋滞対策であるため、今後は県民、議会、経済界の皆様からも広く意見を伺うとともに、財源の手当や無料化した場合の県による道路管理体制等について検討を進め、できるだけ早く判断を示せるよう努めていく。

可決・承認された議案（議員提出）

条例関係（1件）

▽大分県議会議員の議員報酬及び費用弁償条例の一部改正について
意見書（14件）

▽地方交付税の還元・増額及び財源の拡充強化に関する意見書
▽国として直接地方の声を聞く仕組みを保障することを求める意見書

▽経済成長を実現できる平成22年度の予算の編成を求める意見書
▽全国学力テストの継続とさらなる充実を求める意見書

▽新型インフルエンザ対策の強化を求める意見書
▽永住外国人への地方参政権付与の法制化に反対する意見書

▽たばこ増税に反対する意見書
▽WTO農業交渉等に関する意見書
▽個人所得課税の扶養控除縮小等に反対する意見書
▽食の安全・安心の回復に向けて食品表示制度の改正を求める意見書

▽「保険でより良い歯科医療」の実現を求める意見書
▽核兵器の廃絶と恒久平和を求める意見書

▽社会的セーフティネットの拡充に関する意見書
▽子どもたちの生命を守るため、ヒブワクチン及び肺炎球菌ワクチンへの公費助成、定期接種化を求める意見書

決議（1件）

▽国営大野川上流土地改良事業の早期完成を求める決議

可決・承認等された議案（委員云提出3件）

▽所得税法第56条の廃止を求める意見書

▽国営大野川上流土地改良事業に関する意見書
▽EPA・FTA推進路線の見直しを求め、日米FTAの推進に反対する意見書

可決された請願（3件）

▽国営大野川上流土地改良事業に

関する意見書の提出について

▽EPA・FTA推進路線の見直しを求め、日米FTAの推進に反対する意見書の提出について
▽所得税法第56条の廃止を求める意見書の提出について

意見書は、議長名で衆参両院議長、内閣総理大臣及び担当大臣あて送付しました。
（豆知識「意見書とは？」P5参照）

可決・承認等された主な議案等（知事提出）

予算関係（1件）

▽平成21年度大分県一般会計補正予算（第3号）

条例関係（6件）

▽職員の給与に関する条例等の一部改正について
▽大分県の事務処理の特例に関する条例の一部改正について ほか

人事関係（2件）

▽教育委員会委員の任命について
▽公害審査会委員の任命について

決算関係（17件）

▽平成20年度大分県一般会計歳入歳出決算の認定について
▽平成20年度大分県病院事業会計決算の認定について ほか

その他（12件）

▽医薬品の取得について
▽公の施設の指定管理者の指定について ほか

1 第68代議長に安部省祐議員が、第89代副議長に佐藤健太郎議員が就任(3月26日)

新体制のもと、安心して心豊かに暮らせる大分県づくりを目指し、県民の負託にいち早く対応するため、クイック・レスポンス(即時対応)の体制づくりや開かれた県議会に向けた議会改革の新たな取組がスタートした。

2 議員提案による4つの条例が施行(4月1日)

平成20年12月16日に可決した「大分県行政に係る基本的な計画の議決等に関する条例」並びに平成21年3月26日に可決した「大分県議会基本条例」「おおいたの食と農林水産業振興条例」「大分県減災社会づくりのための県民条例」が施行された。議会基本条例は、都道府県議会では全国で6番目、九州では初めての制定となった。

3 県議会議員補欠選挙(竹田市選挙区)の執行(5月10日)

首藤勝次議員の辞職に伴う補欠選挙(竹田市選挙区)が行われ、土居昌弘氏(自由民主党)が当選した。

4 政策研究協議会(5月21日)と議会機能強化検討協議会(6月16日)を設置

政策に関する事項について、会派横断的に協議を行い、提言を行うため、「政策研究協議会」を設置した。自治基本条例等の政策テーマについて検討を行うこととした。

平成21年 大分県議会 10大ニュース

～1年を振り返って～

(項目順は時系列になっています)

条例に基づき、政務調査費収支報告書に加え会計帳簿等の閲覧ができるようになった。(平成20年4月1日以降に交付される政務調査費について適用)

6 議員出前講座を大分大学教育福祉科学部附属中学校で開催(10月19日)

県議会の仕組みや役割などについて授業をする「議員出前講座」を開催した。安部議長が講師となり、3年生160人が受講した。

7 天皇陛下御在位二十周年をお祝いする賀詞の奉呈(10月28日)

安部議長が宮内庁へ直接持参し、賀詞を奉呈した。陛下からお礼のお言葉を賜る。

8 議員の海外調査を実施(10月下旬から11月上旬の間)

県内企業の貿易促進や環境問題への取組等について、海外調査を実施した。10月25日～10月29日 中華人民共和国9名参加、10月31日～11月8日 イギリス、フランス7名参加

9 第9回都道府県議会議員研究交流大会に安部議長がパネリストとして参加し活発な議論(11月13日)

「議会の住民代表機能の在り方」をテーマとする分科会で、安部議長が出前県議会をはじめ、開かれた県議会づくりに向けた本県の取組や広報活動について発表した。

10 九州各県議会議長会が高速道路の整備促進等について国等に対して提言・要望活動を実施(11月16日～17日)

九州各県議会議長会が、民主党本部、国土交通省、総務省、西日本高速道路株式会社などに対し、高速自動車国道等の整備促進、地方分権改革の推進などの重要事項について提言・要望活動を行った。



西日本高速道路株式会社にて

5 政務調査費の会計帳簿等の閲覧を開始(6月30日)

大分県政務調査費の交付に関する

周知等について検討を行うこととした。

第2回 議員出前講座 (県立芸術文化短期大学)

1月12日に公立大学法人大分県立芸術文化短期大学（中山欽吾学長）で今年度第2回目の議員出前講座を開催、情報コミュニケーション学科の学生120人が受講した。

講師を務めた測健児議員と玉田輝義議員が、県議会の仕組みや役割、予算などについて説明。その後の質疑・応答では、学生と活発な意見交換を行った。

議員出前講座は、児童・生徒・学生に県議会への親近感を持ってもらうとともに、将来の住民自治を担う県民としての意識の涵養に寄与する目的で平成20年度から開催している。



▼学生の声

- 本会議は、車いすや介助犬同伴で傍聴できることを初めて知った。
- 是非一度傍聴に行ってみたい。
- 学生にも分かりやすい言葉で説明してもらえたので、難しいとはあまり感じなかった。
- 一人一人が社会（政治）について知っていくことで、変化が起こることとは多いのではないかと感じる事ができた。
- 学生と議員の意見交換は、疑問に思っていたことを直接議員に伺えたので分かりやすかった。こういう機会を持つことで県が活き活きすると思う。
- 自分の地元は宮崎県なので、宮崎県議会についても知りたくなった。
- 私たちがしなければならぬのは、議員さんを選んで満足し、あとは議員さんに任せるのではなく、自分たちでちゃんと県づくりに目を向けて参加していくことだと感じた。
- 新聞やニュースなどに注目し、自分の現状を把握して、よりよい大分をつくるために意見が言えるようになりたい。
- これからも住民みんなの願いを実現して欲しい。

閉会中の委員会活動 (所管事務調査)

決算特別委員会

11月6日（金）

株式会社アクトいちごファーム（ブランドを育む園芸産地整備事業）、ウッドプラス中津事業協同組合（山国川流域林業活性化拠点整備事業）、中津日田道路（中津港線・中津道路）について、決算審査の参考とするため事業の取組等を調査した。



ウッドプラス中津事業協同組合にて

株式会社アクトいちごファームにて



豆知識 意見書とは？

地方自治法の規定により、議会は当該地方公共団体の公益に関することについて、国会や国の関係省庁に対し、制度改善の要望など議会としての意思をまとめた文書を提出することができます。その文書のことを意見書といいます。

議員または委員会が提出し、本会議で意見書を提出することについての可否を決めます。

永年勤続表彰

9名の議員が議員として勤続10年を迎えられました。全国都道府県議会議長会から永年勤続表彰され、12月10日の本会議後、伝達式が行われました。

近藤和義議員（自由民主党）
佐藤健太郎議員（自由民主党）
測健児議員（自由民主党）
井上伸史議員（自由民主党）
田中利明議員（自由民主党）
江藤清志議員（県民クラブ）
賀来和紘議員（県民クラブ）
梶原九州男議員（県民クラブ）
高村清志議員（無所属の会）

県議会 今後の動き

◆平成22年第1回定例会の日程(予定)

- 2月23日(火)開会
- 2月26日(金)本会議
- 3月3日(水)本会議、常任委員会
- 3月4日(木)～5日(金) 本会議(代表質問)
- 3月8日(月)～10日(水) 本会議(一般質問)
- 3月11日(木)～17日(水) 予算特別委員会
- 3月18日(木)常任委員会
- 3月23日(火)予算特別委員会
- 3月25日(木)閉会

◆特別委員会開催

- 2月23日(火) おおいたブランド推進特別委員会
- 2月26日(金) 行財政改革特別委員会

◆議会機能強化検討協議会(第7回)開催

- 3月4日(木)

県議会 これまでの動き

◆特別委員会の動き

- 決算特別委員会 10月15、16、20～23日
- 決算審査 11月20日(金)
- 採決、審査報告書の検討・まとめ 11月18日(水)
- 公社等外郭団体の状況
- 指定管理者制度

- 地域づくり機構における取組(土地開発公社、道路公社、住宅供給公社)
- 12月9日(水) 歳入の確保
- 職員の意識改革
- 地域・産業活性化特別委員会 12月9日(水)
- 企業誘致
- 安全・安心な大分づくり特別委員会 12月9日(水)
- 地域の安全・安心の確保(地域の防犯対策、高齢者の交通事故対策、学校の防犯対策)

◆政策研究協議会(第7～9回)

- 11月26日(木) 第一回九州・沖縄未来創造会議の結果について
- 1月12日(火)、28日(木) 政策研究テーマ「がん対策推進条例」について

◆議会機能強化検討協議会(第5～6回)

- 11月27日(金) 定例会会期について
- 1月29日(金) 委員会活動の活性化について

お知らせ

県議会を傍聴してみませんか？



傍聴席

本会議や委員会の傍聴をご希望の方は、日程を確認の上、会議当日、議会棟1階の傍聴受付までおいでください。先着順で傍聴券を交付します。

本会議場での傍聴については、盲導犬等の同伴ができません。

手話通訳又は要約筆記を希望される方は、本会議の前日までに、シルエットインダクター(耳掛け型補聴器)の貸し出しを希望される方は2日前までにお申し出ください。

傍聴席数は、本会議が一般席147席、車いす使用者席4席、委員会が各委員会室10席です。

【問い合わせ先】議会事務局議事課
次のケーブルテレビ局で、本会議中継を行っています。

- 大分ケーブルテレコム
 - 大分ケーブルネットワーク
 - CTBメディア(別府市・日出町)
 - 臼杵ケーブルネット
 - KCVコミュニケーションズ(日田市)
- (放送時間等は各局にご確認ください)

県議会ホームページ

本会議・予算特別委員会の生中継・録画中継、会議録や議会の日程、質問項目、議会のしくみと役割など様々な情報を掲載しています。

大分県議会 <http://www.pref.oita.jp/21000/>

大分県議会

検索

お問い合わせは**県議会事務局各課**まで

- 【総務課】議会庶務、政務調査費、情報公開など ☎097-506-5019
- 【議事課】本会議、常任委員会、傍聴など ☎097-506-5022
- 【政策調査課】調査業務、特別委員会、議会広報など ☎097-506-5035

点字版・音読版
「県議会おおいた」のご案内
本紙の点字版・音読版を作成しています。詳しくは議会事務局政策調査課まで